

# TOKUYA TIMES

とくや  
タイムズ

春風会

New

http://ito-tokuya.com/tokuya

伊藤 とくや

Winter, 2010-11, vol.15



## サステイナブル 持続的発展可能な豊橋を目指して

### 第15号発行のご挨拶

超高齢化社会の課題を解決し、老朽化するインフラへ対応するとともに、危機管理への対応を成し、人々から信頼され選ばれる持続的発展可能な豊橋市を築かなければならない。

今回で15回目となる伊藤とくや一般質問は、以下の3問と致しました。

#### 1 スロースタイルなまちづくりについて

スローフード、スローライフの実現によるスロータウン、スローシティー(生活文化都市)は私の選挙公約でしたが、その約束が叶いません。2009年11月に「ええじゃないか豊橋推進計画(シティプロモーション)」が承認されましたが、大きな4つのコンテンツの1つは「とよはし食文化」です。

第5次総合基本構想の目指すまちの姿は、「ゆったりと暮らせるまち」がキーワードに。つまりスローライフです。ゆったりとした時間、スローが贅沢であるといった価値観は、新しい時代の価値観として受け入れられ、豊橋・東三河への移住・定住に繋がるかもしれません。

#### 2 BCP(事業継続計画)に対する本市の役割について

BCP(Business Continuity Plan:事業継続計画)とは、企業が被災しても事業を中断させず、中断しても可能な限り短期間で再開させ、中断に伴う顧客取引の競合他社への流出、マーケットシェアの低下、企業評価の低下などから企業を守るための経営戦略であり、リスクに対し如何に事業に影響を与えない時間内で事業活動を復旧するかという、『リスクマネジメント・危機管理』をいいます。また、BCPはシミュレーションとそれに基づき先手を打つ費用対効果の高い先行投資です。BCPは企業で働く人の生命、企業の生命、また、地域社会の経済的基盤という生命を救います。さらにリスクを分散できない本市の中小企業にとっては最重要課題です。

#### 3 アーケード、日除け、雨よけ等について

10月9日広小路1丁目地内において、歩道上部に設けた屋根のアルミ製天井パネルの一部が落下し4人が軽傷を負う事故が発生した。事故を起こしたアーケードは築35年。市内にはあるアーケードは多くの市民に親しまれ、商業を振興させるなど利便性の大変高い施設だが、老朽化したものも多い。今後、維持管理について様々な取り組みが必要であり、本市の果たす役割は大きい。

### 【1】スロースタイルなまちづくりについて

**質問の骨子** 『ええじゃないか豊橋推進計画』の核となる4つのコンテンツ「とよはし食文化」では『新たな「ええ級グルメ」の提案』『スローフード・スローライフ文化の発信』『ええじゃないか豊橋物産展の実施』を挙げています。本市の豊かな水と温暖な気候によって作られる地元のおいしい食や、「豊橋カレーうどん」のような流行、これから始まる『伝統食品や優れた地域食材』による『ええ級グルメ』は、「豊橋」の良さを都市の個性として活かすシティプロモーションとして大変期待できる。

関連となる『ほの国流ライフスタイルの提案・発信』の基本構想にある目指すまちの姿は、「ゆったりと暮らせるまち」。つまりスローライフです。スローライフとは、生活様式に関する思想の一つで、地産地消や歩行型社会を目指す生活様式をいいます。ゆったりとした時間、スローが贅沢であるといった価値観は、新しい時代の価値観として受け入れられ、豊橋・東三河への移住・定住に繋がるかもしれません。

スローライフに関心のある全国15市町村が集まる『スローライフまちづくり全国都市会議』では、『地域の歴史、伝統、文化、自然、産業、農業など、あらゆる分野にあるスローライフの資源を磨き上げていく方策の研究』『加盟都市間の交流と連携及び意見交換』その他”スローライフ憲章”にのっとった活動がされています。本市は現在未参加ですが、この会議への参加や加盟は、相互啓発として大いに期待できるのではないかと思います。そこで、以下について伺いました

#### 問① スローフードに対する現状の認識と対応について伺う。

**答 文化市民部長** スローフードの取り組みは、多様で豊かな生活を考える「きっかけ」の一助になるものと認識。「食」について考える機会を提供するとともに、シティプロモーションの一環として「地域の食文化」の情報発信を図るなど、事業実施の支援を継続する。

#### 問② スローライフに対する現状の認識と対応について伺う。

**答 企画部長** 温暖な気候、豊かで多様な自然、比較的平坦な地形とまとまりのある市街地、新鮮で豊富な食材、誇りある歴史などの、諸条件を備えた本市の環境は、スローライフを実現させるにふさわしいと考えている。こうした特長を活かし、誰もが健康的でのびのびと暮らすことのできる質の高いまちづくりを多くの方とともに取組んでいく必要があると考える。

#### 問③ スローライフ全国都市会議に対する認識について伺う。

**答 企画部長** スローライフを実践している都市が集まり、交流、連携、情報交換などを行っていると考えている。まちづくりの事例の中には興味を引くものもある。本市の今後の参考としたい。

#### 問①～③まとめて2回目 スローフード・スローライフをシティプロモーションとして、今後どの様に推進していくのかについて伺う。

**答 企画部長** こうしたライフスタイルが実現できるという点は本市の大きな魅力、シティプロモーション推進計画においても重要な項目として位置付けている。今後も、様々な方々からアイデアをいただき、環境の整備や仕掛けに積極的に取組むとともに、情報発信にも努めていくことが重要であると考えている。

